
小屋と彼女

澤涛 キノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小屋と彼女

【Nコード】

N9070A

【作者名】

澤涛 キノ

【あらすじ】

彼の秘密基地らしき小屋であったこととは！？

（前書き）

少しシリアスな話です。
苦手な人はやめておいて下さい。

自分の好きな場所に行く・・・。

学校の敷地内にある小さな小屋。

そこには僕にしか知らない世界がある・・・。

俺はこの学校は嫌いだ

今は授業中だ。だから小屋のまわりはとても静かで僕にとってはとてもいい状態だ。この状態がいつまで続くのだろう・・・。
僕は時計を見た・・・。あと10分で五月蠅くなる。しょうがなく帰ることにしようときめた。

僕が人を殺したところから・・・。

あれは、ちょうど1年前のこと・・・。

俺には彼女がいた。

彼女は俺に内緒でほかの男と付き合ってた。

それを知った俺は、俺のものにするために彼女を殺した。

僕のものにするためにね・・・。

別に俺は悪いことはしていない。彼女が悪いんだ。

僕は知らないよ。

彼女が僕の前から消えようとしたからいけないんだそうしなければ僕は殺したりはしなつかたんだ。

僕は彼女をこの小屋に呼んだそのあとたわいのない話をして彼女が後ろを向いたのを見計らって僕は彼女の首を絞めたんだ・・・。

最初は抵抗してた。だけどそのうち元気をなくして死んじやったんだ。

これを見て僕はやっと自分の物にできたって喜んだ。すっごくうれしかったから・・・。

そのあと彼女の浮気相手が彼女はどこかっ
てきていたから『知らない』
って答えてつやたんだ本当はし
ってたけど・・・。
誰も僕を疑わなかった。

だって・・・

彼女の彼氏だからね・・・。

僕はそう思いながら小屋をあとにした。

（後書き）

初めてだったんですけどどうでしたか？
なんかシリアスというよりこわい・・・。

感想・意見などお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9070a/>

小屋と彼女

2011年1月28日02時56分発行